

2025年12月11日

本州四国連絡高速道路株式会社



SETOUCHI MUSEUM NETWORK

## せとうち美術館ネットワーク『せとうちアートセミナー』を開催します！

～「瀬戸内国際芸術祭から遡るアート県香川の軌跡と奇跡」～

「せとうち美術館ネットワーク」では、瀬戸内地域の文化芸術の魅力発信と交流促進を目的に、地域の美術館・博物館等と連携した活動を展開しています。

このたび、瀬戸内地域を中心とした文化芸術面の魅力発信がテーマの講演会『せとうちアートセミナー』を開催します。

今回のセミナーでは、瀬戸内国際芸術祭 2025 を契機にして、瀬戸内国際芸術祭の舞台裏や「アート県香川」の歴史的・文化的背景、地域に根付くアートの力について、第一線で活躍する講師が語ります。アートを通じて、瀬戸内の島々や人々がどのように変化し、国内外から注目される地域となったのか、その軌跡と奇跡を紐解きます。



せとうちアートセミナー 開催イメージ

※過去開催時の写真



会場:TKP 高松カンファレンスセンター

※JR 高松駅直結

## 1. 講演概要

○開催日時 12月14日(日)14時00分～15時30分 (開場:13時30分)

○会 場 TKP 高松カンファレンスセンター ホール 3A

(香川県高松市浜ノ町 1-20 TAKAMATSU ORNE 南館 3 階)

※ アクセス情報の詳細は、会場ホームページよりご確認ください。

(参考)会場 ホームページ

【URL】<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-takamatsu/access/>



○定 員 100 名

○料 金 無料

## 2. 講演内容

【演題】「瀬戸内国際芸術祭から遡るアート県香川の軌跡と奇跡」

～瀬戸内国際芸術祭－直島－香川県庁舎－栗林公園～

「瀬戸内国際芸術祭」は、瀬戸内の島々を舞台に、3年に1度開催される現代アートの祭典です。2010 年に始まり 3 年に 1 度の約 100 日の開催期間中には、約 100 万人の人々が国内外から訪れる日本を代表するアートフェスティバルとなっています。

瀬戸内の再生を目指す「海の復権」をテーマに掲げ、来訪者はアートを通じて島々を巡りながら、アーティスト、地域住民やボランティアサポーターと交流し、瀬戸内の持つ美しい景観や自然、島の文化や生活に出会うというスタイルが国内外の多くの方々の共感を呼んでいるとともに、世界の著名メディアで紹介されるなど、世界のツーリズムからも注目を集めています。

本セミナーでは、瀬戸内国際芸術祭が地域に起こしたイノベーションと、芸術祭を育む地域「アート県かがわ」の源流を辿る旅に出かけます。例えば、瀬戸内国際芸術祭を辿ると、アートの聖地「ベネッセアートサイト直島」の活動に、直島は、戦後香川のアートのビックバンである丹下健三の傑作「香川県庁舎」に、県庁舎は、国内文化財庭園最大の面積を誇り日本庭園の最高峰と評する著名人も多い栗林公園に繋がっていく文化的、歴史的背景についてご紹介していきます。

## 3. 講師

香川県瀬戸内国際芸術祭推進課 主幹

今瀧 哲之（いまたき てつゆき）氏

【プロフィール】

「瀬戸内国際芸術祭」を第1回(2010年)の立上げから担当して以来、約 20 年にわたり携わる。

ほかに、丹下健三生誕 100 周年「伝統と創造 瀬戸内から世界へ」展、香川県庁舎(国重文指定 2022 年)、瀬戸内海歴史民俗資料館(国重文指定 2025 年)等の建築関連のプロジェクト、「さぬき映画祭」等の文化事業を担当。



#### 4. 参加申込方法

下記 URL の【申込フォーム】よりお申し込みください。

**※応募は締切ました。たくさんのご応募ありがとうございました。**

※セミナー当日、残席がある場合は、会場において参加申込の受付を行います。

#### 5. 主催

せとうち美術館ネットワーク事務局

(事務局:本州四国連絡高速道路株式会社、一般財団法人本州四国連絡高速道路協会)

#### 6. 後援

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

#### 【参考】「せとうち美術館ネットワーク」について

「せとうち美術館ネットワーク」は、瀬戸内地域に点在する美術館や博物館などの文化芸術施設を相互にネットワーク化し、瀬戸内地域の交流促進と活性化を図ること等を目的とした事業です。現在、91 の施設が参加し、広域のネットワークとなっています。

本ネットワークでは、この他「せとうち美術館ネットワークパスポート」を活用したデジタルスタンプラリーの実施や、ネットワークに参加する美術館、博物館等で開催する特別展、イベント情報等を掲載したタブロイド紙「せとうちアート通信」を四半期ごとに発行する等、瀬戸内地域全体の文化芸術面の魅力の発信を支援しています。

「せとうち美術館ネットワーク」ホームページ

【URL】<https://www.jb-honshi.co.jp/museum/>



SETOUCHI MUSEUM NETWORK

【せとうち美術館ネットワーク事務局】 TEL: 078-291-1081 (平日 9 時 00 分～17 時 30 分)

本州四国連絡高速道路株式会社、一般財団法人本州四国連絡高速道路協会



SETOUCHI MUSEUM NETWORK

# せとうちアートセミナー

## 瀬戸内国際芸術祭から遡るアート県香川の軌跡と奇跡

～瀬戸内国際芸術祭－直島－香川県庁舎－栗林公園～

「瀬戸内国際芸術祭」は、瀬戸内の島々を舞台に、3年に1度開催される現代アートの祭典です。2010年に始まり3年に1度の約100日の開催期間中には、約100万人の人々が国内外から訪れる日本を代表するアートフェスティバルとなっています。瀬戸内の再生を目指す「海の復権」をテーマに掲げ、来訪者はアートを通じて島々を巡りながら、アーティスト、地域住民やボランティアサポーターと交流し、瀬戸内の持つ美しい景観や自然、島の文化や生活に出会うというスタイルが国内外の多くの人々の共感を呼んでいます。世界の著名メディアで紹介されるなど、世界のツーリズムからも注目を集めています。本セミナーでは、瀬戸内国際芸術祭が地域に起こしたイノベーションと、芸術祭を育む地域「アート県かがわ」の源流を辿る旅に出かけます。例えば、瀬戸内国際芸術祭を辿ると、アートの聖地「ベネッセアートサイト直島」の活動に、直島は、戦後香川のアートのビッグバンである丹下健三の傑作「香川県庁舎」に、県庁舎は、国内文化財庭園最大の面積を誇り日本庭園の最高峰と評する著名人も多い栗林公園に繋がっていく文化的、歴史的背景についてご紹介していきます。



ヘザー・B・スワン+ノンダ・カサリディス「海を夢見る人々の場所」Photo: Keizo Kioku



藤本 修三「八人九脚」Photo: Kimito Takahashi



(講師) いまいき てつゆき  
**今瀧 哲之**

香川県瀬戸内国際芸術祭推進課 主幹

「瀬戸内国際芸術祭」を第1回（2010年）の立上げから担当して以来、約20年にわたり携わる。ほかに、丹下健三生誕100周年「伝統と創造瀬戸内から世界へ」展、香川県庁舎（国重文指定2022年）、瀬戸内海歴史民俗資料館（国重文指定2025年）等の建築関連のプロジェクト、「さぬき映画祭」等の文化事業を担当。



高松港プロジェクト 建築：佐藤研吾 アート：五十嵐靖晃 Photo: Shintaro Miyawaki

開催日時

**2025年12月14日(日) 14時～15時30分 (開場: 13時30分)**

**TKP高松カンファレンスセンター ホール3A**

アクセス：JR「高松駅」直結、ことでん「高松築港駅」徒歩5分

**100名 (先着順・事前申込制) 入場無料**

※当日参加受付をしますが、事前申込みされた方を優先します。

開催場所

定員

主催：せとうち美術館ネットワーク事務局

後援：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

問合せ先：せとうち美術館ネットワーク事務局 **078-291-1081** (平日 9:00～17:30)

**JB 本四高速**

本州四国連絡高速道路(株)内

事前申し込みはこちらから

